

委員会レポート | 文教厚生委員会

所管 教育・住民・健康福祉に属する事項

11月13日(水)

医療費削減の取り組みを 宮城県柴田町を視察



視察を終えて

柴田町の健康づくりポイント事業では、付加価値を付けて健康と運動の両立で医療費が少しでもかからない行政運営がされていることに感銘しました。須恵町においても、ポイント事業は検討課題であると感じました。

取り組み

生活習慣病予防啓発事業(ウォーキングサークルなど11事業を仙台大学と提携して行なっていました。また、健康づくりポイント事業を展開し、ポイントを付与することにより、意識向上を図り、健康寿命延伸につながっています。

須恵町は3年連続で高医療(医療費が高い)市町村との不名誉な認定を受け、医療費削減が急務です。柴田町の健康寿命延伸の取り組みを学ぶため、視察を行いました。



11月14日(木)

待機児童対策 宮城県大和町を視察

視察を終えて

保育士不足の解決には、更なる保育士の処遇改善が必要ですが、企業内保育の取組みも含め、今後、民の力をどのように活用していくのが須恵町の課題である、と感じました。

取り組み

保育士の処遇改善(賃金・身分)を図り、保育士を確保。企業内保育による民の力の活用。企業主導型保育施設多子世帯保育料軽減(2人目以降の保育料の一部補助)などを行なっていました。

須恵町では、保育士不足などによる待機児童が増加しています。(11月1日現在42名)解決策を探るため大和町の視察を行いました。

委員会レポート | 総務建設産業委員会

所管 総務・まちづくり・税務・都市整備・地域振興・上下水道に属する事項・その他の委員会に属しない事項

10月9日(水)

市が納骨堂を経営 神奈川県横浜市を視察



横浜市は、様々な調査などから墓地区画の不足が明らかとなり、新たに「日野(もれび)納骨堂」を設置しました。同納骨堂は、自動搬送式納骨施設に1300基、合葬式納骨施設に約2200体の収容が可能です。

家と家族をめぐる社会環境の変化が、墓地のあり方にも影響を与えています。核家族化・少子化・墓地の無縁化等家族観の変化により多様化が進んでいるようです。横浜市と須恵町は距離も遠く、自治体の規模も違いますが、家族をめぐる変化は同じように思います。

なお、同納骨堂は、平成30年4月に供用開始したばかりで、最新の設備を持っています。視察中にも参拝の方が見えられていました。

10月10日(木)

ドローンを活用 静岡県焼津市を視察



昨年、須恵町は、各区に自主防災組織を完備しましたが、焼津市の自主防災会は、各地域に古くから設置されています。これは、太平洋に面した長い海岸線を持ち、地震・津波の脅威が大きい地域性もあるようです。

歴史が長いだけに、その取り組みも充実し、毎年の訓練も工夫をされています。一例に「災害は昼とは限らない」と、夜間の防災訓練まで行っています。また、焼津市市民防災リーダー育成講座を開設し、育成された防災リーダーは、各地域の防災力向上に役立っています。

ほかに焼津市は「BLUE SEAGULLS」と名付けられた防災航空隊を結成し、ドローンを10数台保有しています。パイロットは職員が担い、隊長は防災部長。以下、副隊長、第1小隊、第2小隊と編成しています。航空隊は、防災のみならず、広報、港湾、建設、農政などの部局で運用が検討されるため、消防署ではなく、市役所に設置しているのが特徴です。

山林を多く所有する須恵町においても、急勾配な地形や脆い地質など人の立ち入り困難な場合を考えると、今後さらに研究していくべき取り組みと感じました。